



LINTEC Corporation

個人投資家向け説明会資料

2024年7月27日(土)

リンテック株式会社
代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

LINTEC
SUSTAINABILITY
VISION

(東証プライム市場 7966)

2030

■本日の内容

1. 会社概要

2. 事業紹介

3. 2025年3月期の業績見通し

4. 長期ビジョン・新中期経営計画概要

1. 会社概要

LINTEC
SUSTAINABILITY
VISION

2030

会社概要

- 社名 リンテック株式会社 (英文:LINTEC Corporation)
- 本社 東京都板橋区
- 証券コード 7966(東証プライム市場)
- 設立 1934年(昭和9年)10月15日
- 資本金 233億円(24年3月末)
- 従業員数 連結:5,476人(24年3月末)
- 売上高 連結:2,763億円(24年3月期)
- 事業内容 粘着製品、粘着関連機器、特殊紙、
剥離紙・剥離フィルムなどの開発・製造・販売
- 事業拠点 国内連結子会社: 3社
海外連結子会社:38社



1934年 ガムテープメーカー「不二紙工株式会社」
設立(東京・板橋)

1960年 ラベル用粘着紙・粘着フィルムの
製造・販売を開始

以降、二輪・自動車、屋外装飾関連などの
工業分野に粘着事業を拡大

1984年 FSK株式会社に商号変更

1986年 UV硬化型ダイシングテープを開発し、
半導体関連分野に本格参入

1987年 マディコ社(米国)を買収

1990年 四国製紙、創研化工と3社合併
「リントック株式会社」に商号変更

特殊紙、剥離紙・剥離フィルムから粘着紙・
粘着フィルム、関連機器分野にまで業容を拡大

1991年 光学ディスプレイ関連分野に本格参入



1994年 リンテック・インドネシア社を設立

2000年 リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社を設立

2002年 琳得科(蘇州)科技有限公司を設立

リンテック・スペシャリティィー・フィルムズ(韓国)社を設立

2003年 リンテック・スペシャリティィー・フィルムズ(台湾)社を設立

2004年 リンテック・コリア社を設立

2011年 リンテック・タイランド社を設立

2016年 マックタック・アメリカ社を買収

2021年 デュラマーク社(米国)を買収

2022年 スピネカー社(米国)を買収

2023年 ラベルサプライ社(カナダ)を買収

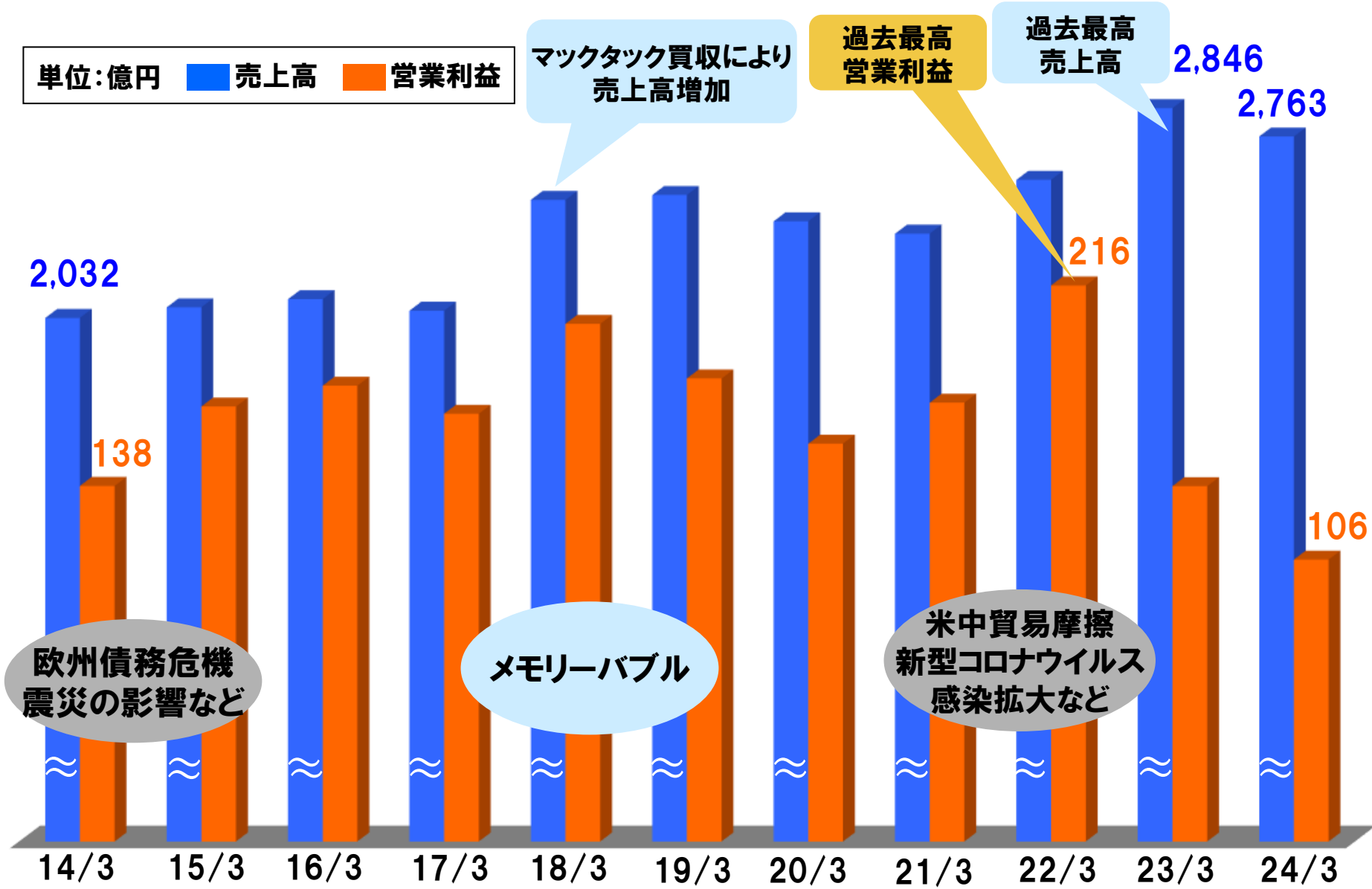


琳得科(蘇州)科技有限公司



マックタック・アメリカ社

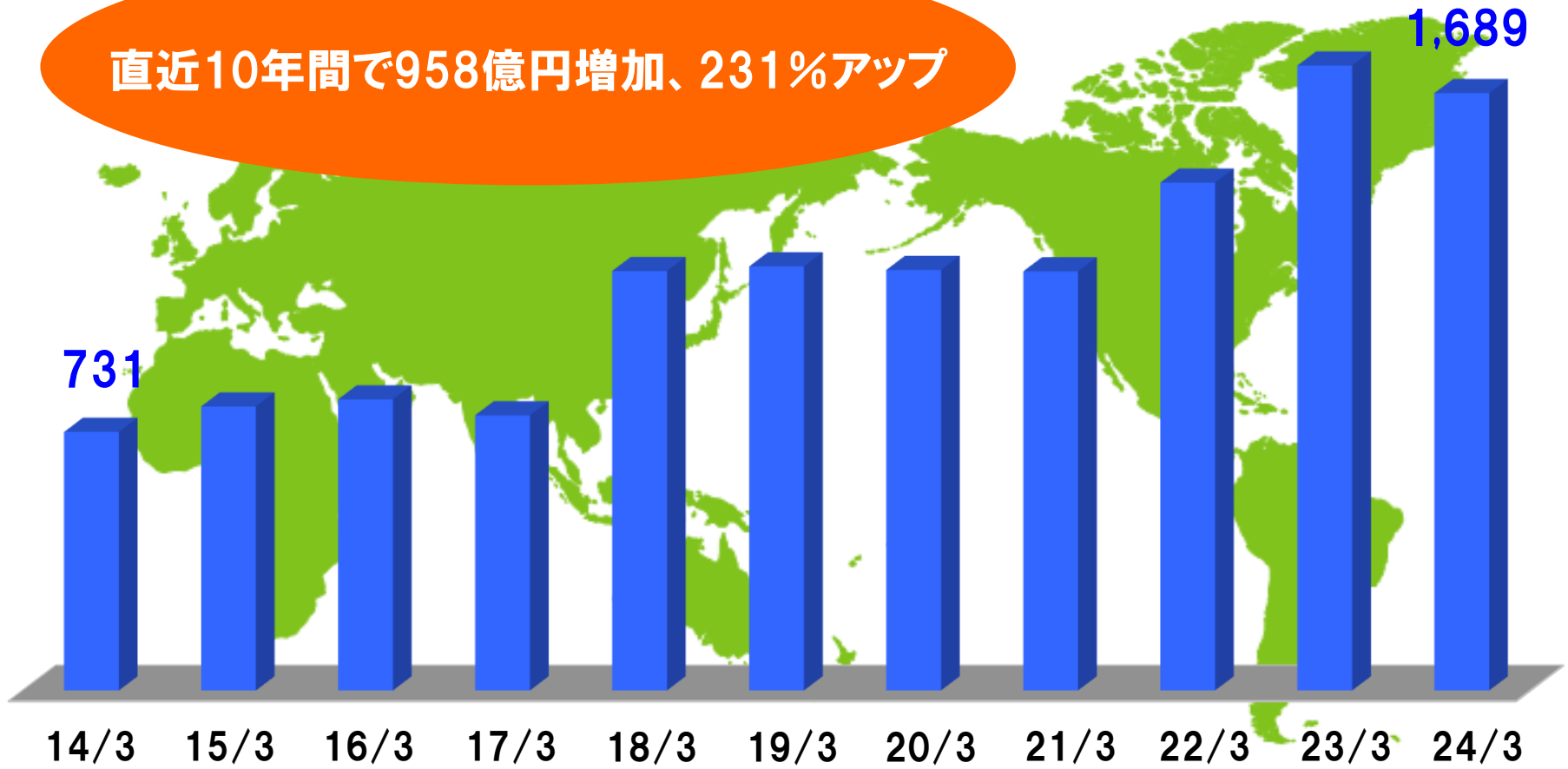
業績推移／売上高、営業利益



業績推移／海外売上高

(単位:億円)

直近10年間で958億円増加、231%アップ

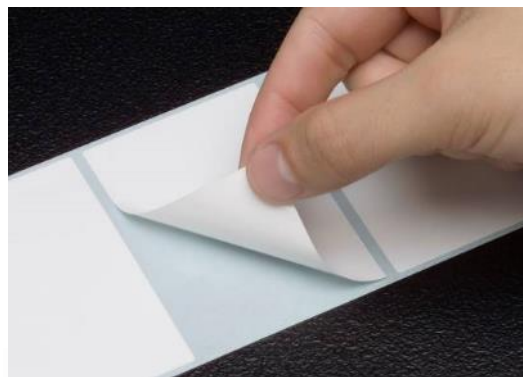


36.0%

海外売上高比率

約61.1%

粘着製品の基本構成



① 表面基材（紙・フィルム）

- 表面加工
印刷・印字適性、耐久性など



② 粘着剤

③ 剥離紙・剥離フィルム

トータルに自社技術で対応

四つの基盤技術と事業セグメント

基盤技術

1

粘着応用技術

2

表面改質技術

3

システム化技術

4

特殊紙・剥離材製造技術

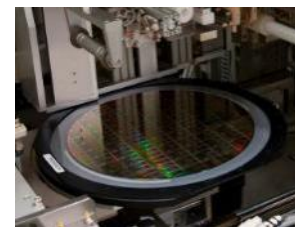
印刷材・産業工材関連

- 印刷・情報材事業部門
- 産業工材事業部門



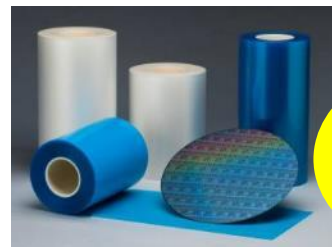
電子・光学関連

- アドバンスドマテリアルズ事業部門
- オプティカル材事業部門



洋紙・加工材関連

- 洋紙事業部門
- 加工材事業部門



粘着製品
+
関連機器



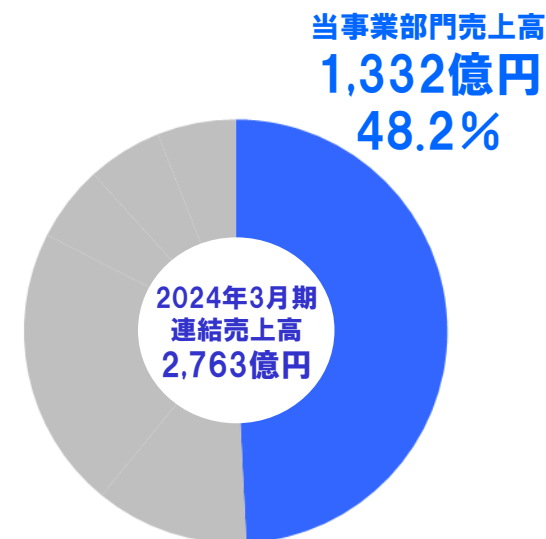
2. 事業紹介

LINTEC
SUSTAINABILITY
VISION

2030

●ラベル用粘着紙・粘着フィルム

- 粘着剤によって、永久接着タイプ・再剥離タイプ・再貼付タイプに分けられる
- 印刷・印字適性、耐久性、耐熱性、耐水性、低温適性、曲面貼付性、寸法安定性、意匠性などに優れ、さまざまな用途や使用環境に対応



【商流】 当社 ⇒ シール・ラベル加工会社 ⇒ エンドユーザー



■ ラベル用粘着紙・粘着フィルムの用途／主な要求性能



● 食品・飲料関連

- ・ 耐水性
- ・ 曲面貼付性
- ・ 低温適性 など



● 日用品関連

- ・ 耐水性
- ・ 曲面貼付性
- ・ 意匠性 など



● 家電関連

- ・ 耐久性
- ・ 耐熱性
- ・ ガス透過性 など



● 自動車関連

- ・ 耐油・耐水性
- ・ 耐久性
- ・ 耐熱性 など



● 医療・医薬関連

- ・ 印刷・印字適性
- ・ 耐薬品性
- ・ 改ざん防止機能 など



● 流通・通販関連

- ・ 印字適性
- ・ 捺印適性
- ・ 低温適性 など

■マックタック・アメリカ社

- ・北米のラベル用粘着製品市場第3位のメーカーで、同市場への本格参入のため、2016年12月に約340億円で買収
- ・のれん約300億円(10年償却)
- ・生産能力増強のため、2021年4月に同業の**デュラマーク社**を約65億円で買収
- ・事業領域拡大のため、2022年2月に同業メーカーから約45億円で事業を譲り受け、**スピネカー社**を設立
- ・カナダ市場での販売網拡大のため、2023年5月に同業の**ラベルサプライ社**の事業を約70億円で買収



環境負荷低減に貢献する
ホットメルト粘着技術を保有

創 業 : 1959年

所 在 地 : 米国 オハイオ州

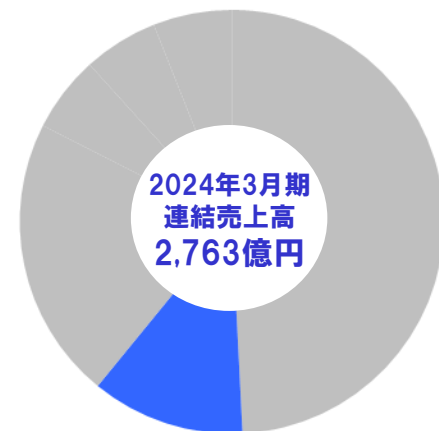
従業員数: 1,038人 (2022年12月末現在)

事業内容: 印刷用ラベル素材、可変情報用ラベル素材、グラフィックシート、工業用テープ、医療用テープなどの製造・販売

取得価額: 約300百万USD



- ウィンドーフィルム (建物用・自動車用)
- サイン・広告・内装用化粧フィルム
- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン・バーコードプリンタ など



当事業部門売上高
358億円
13.0%



産業工材事業部門の主な製品・特徴

●建物用ウィンドーフィルム



- ・ ガラス飛散防止
- ・ 日射調整
- ・ 紫外線カット など

●ドアサッシ用塗装代替フィルム



- ・ 耐候性
- ・ 施工適性 など

●自動車用ウィンドーフィルム



- ・ ガラス飛散防止
- ・ 日射調整
- ・ 紫外線カット など

●アルミホイール用保護フィルム



- ・ 耐候性
- ・ 再剥離性 など

●サイン・広告・内装用化粧フィルム



- ・ 耐候性
- ・ 施工適性
- ・ 豊富な種類 など

●ラベリングマシン



- ・ 高速・効率化
- ・ 作業性
- ・ 自動化 など

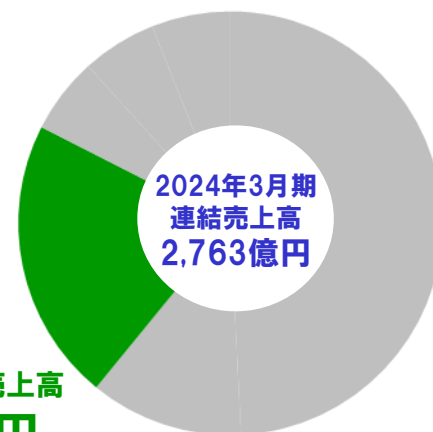
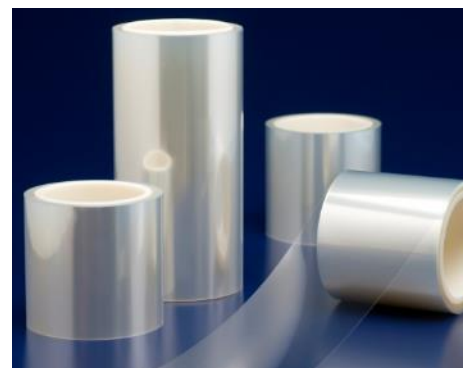
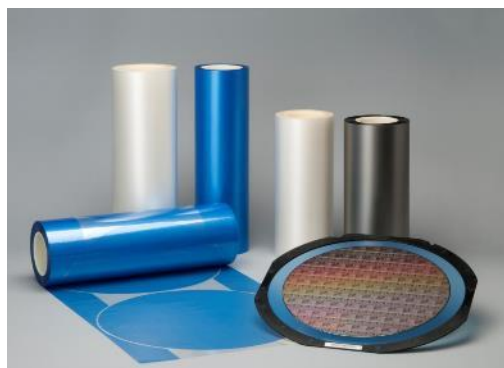
● 半導体関連粘着テープ

- バックグラインドテープ
- ダイシングテープ
- チップ裏面保護テープ
- ダイシング・ダイボンディングテープ

● 半導体関連装置

- テープマウンタ
- テープラミネーター・リムーバー
- UV照射装置

● 積層セラミックコンデンサ関連テープ など

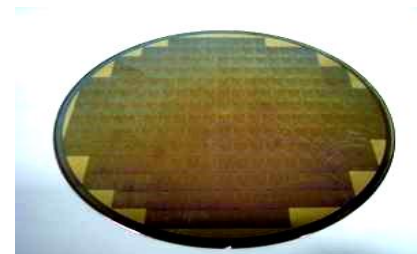


当事業部門売上高
600億円
21.7%

半導体の製造工程

【前工程】

単結晶シリコン
インゴット

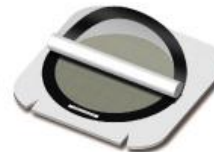
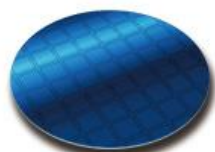
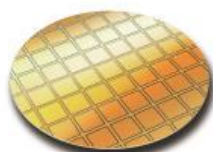


ウェハ

回路形成ウェハ

【後工程】

※当社テープ・装置を使用



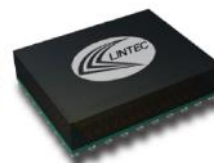
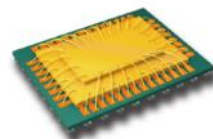
回路形成
ウェハ

表面保護
テープ貼付

裏面研削
(薄型化)

ダイシング
テープ貼付

表面保護
テープ剥離



ダイシング
(ウェハ切断)

テープへの
紫外線照射

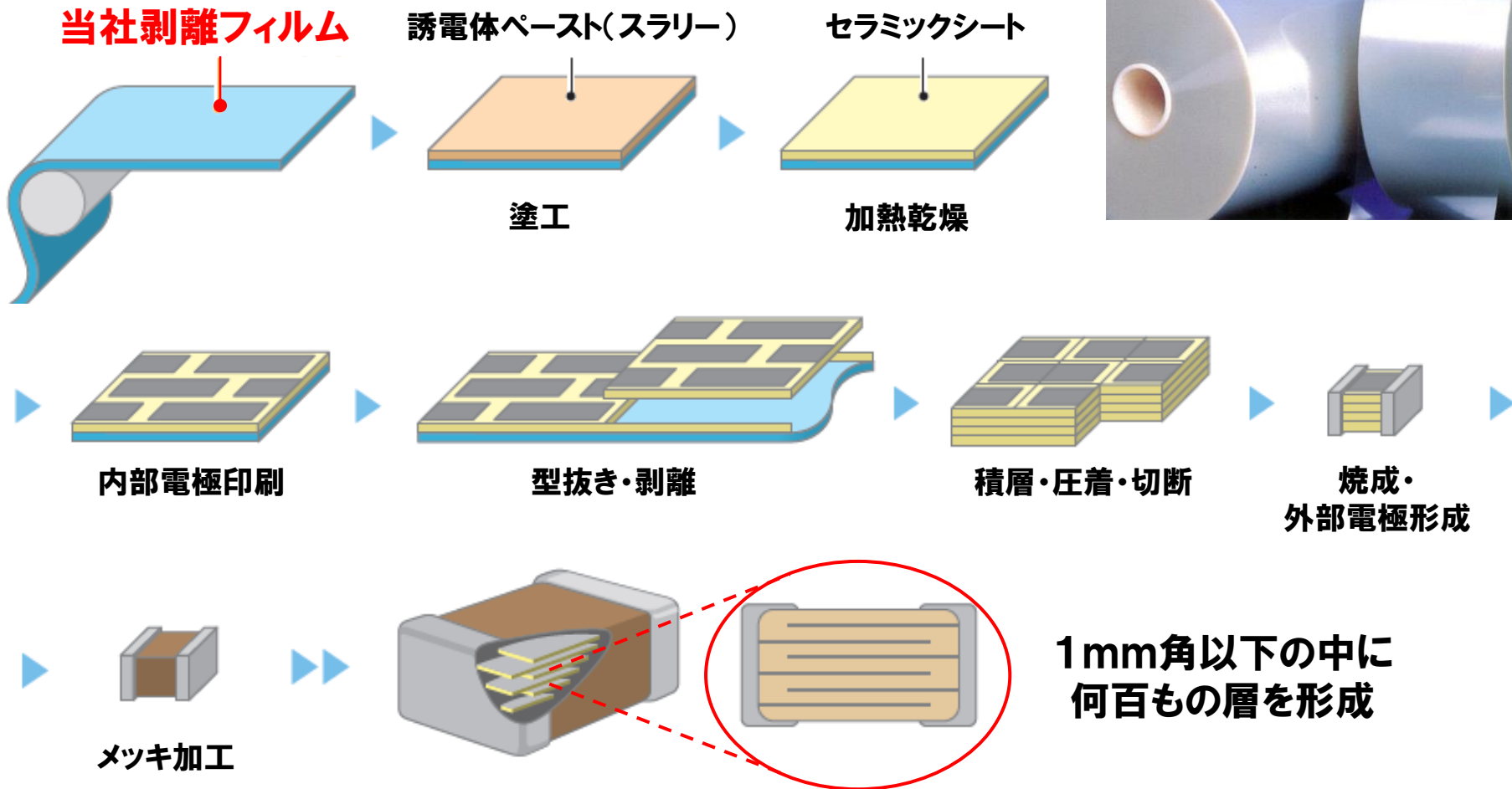
ピックアップ

実装・積層

樹脂封止

● 積層セラミックコンデンサ関連テープ

■ 積層セラミックコンデンサの製造工程



● 光学ディスプレイ関連粘着製品

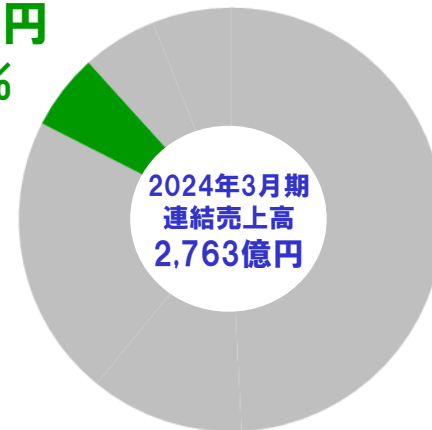
● タッチパネル関連製品

当事業部門売上高

139億円

5.0%

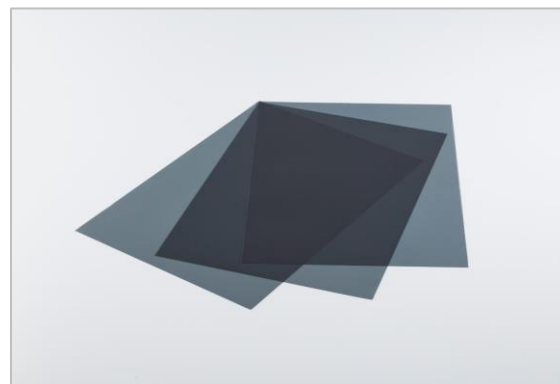
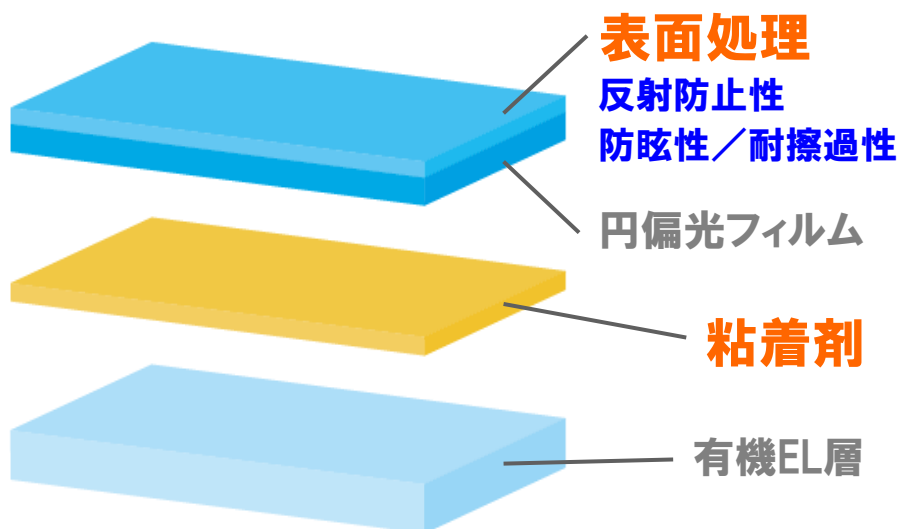
2024年3月期
連結売上高
2,763億円



● 光学ディスプレイ関連粘着製品

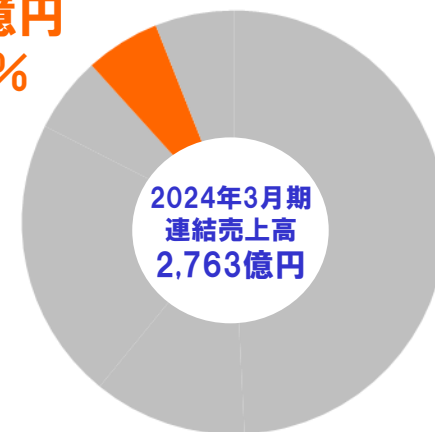
スマートフォンやタブレット、大型テレビなど有機ELディスプレイの画像表示に欠かせない光学機能性フィルム向けの粘着製品

■ 有機ELディスプレイの構成



- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙(耐油耐水紙、無塵紙など)
- 高級印刷用紙
- 建材用紙 など

当事業部門売上高
153億円
5.5%



- 粘着製品用剥離紙
- 電子材料用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙 など

当事業部門売上高

181億円

6.6%



3. 2025年3月期の 業績見通し

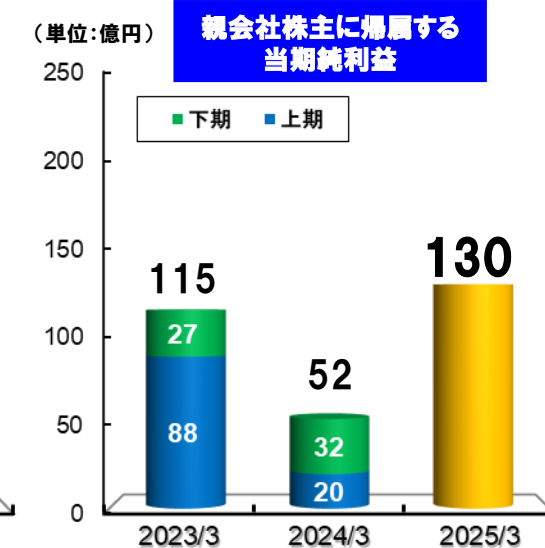
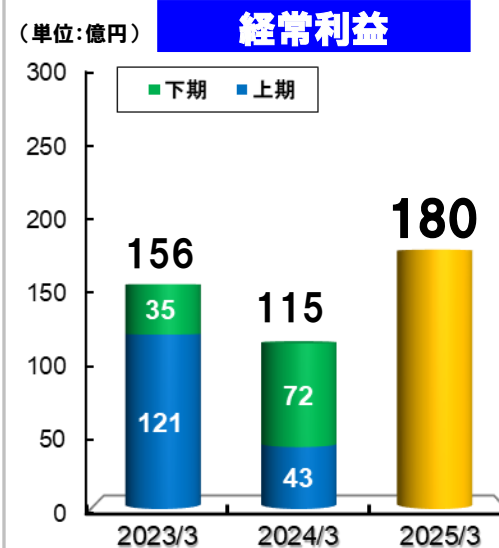
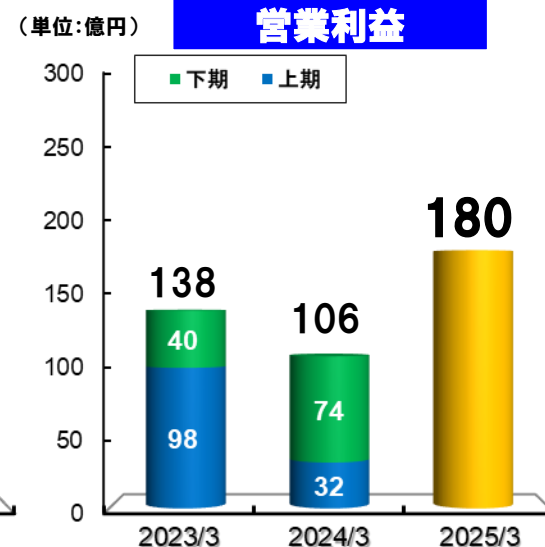
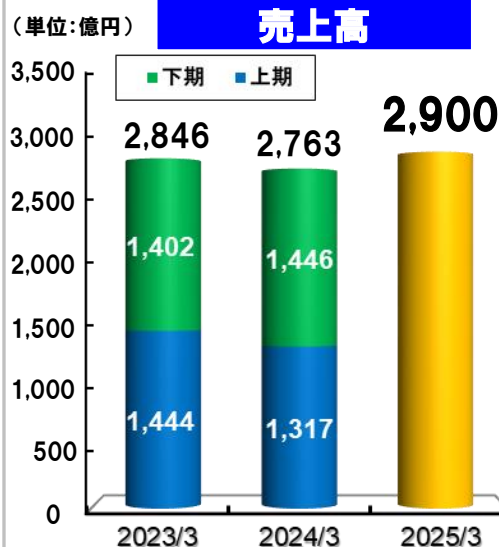
LINTEC
SUSTAINABILITY
VISION

2030

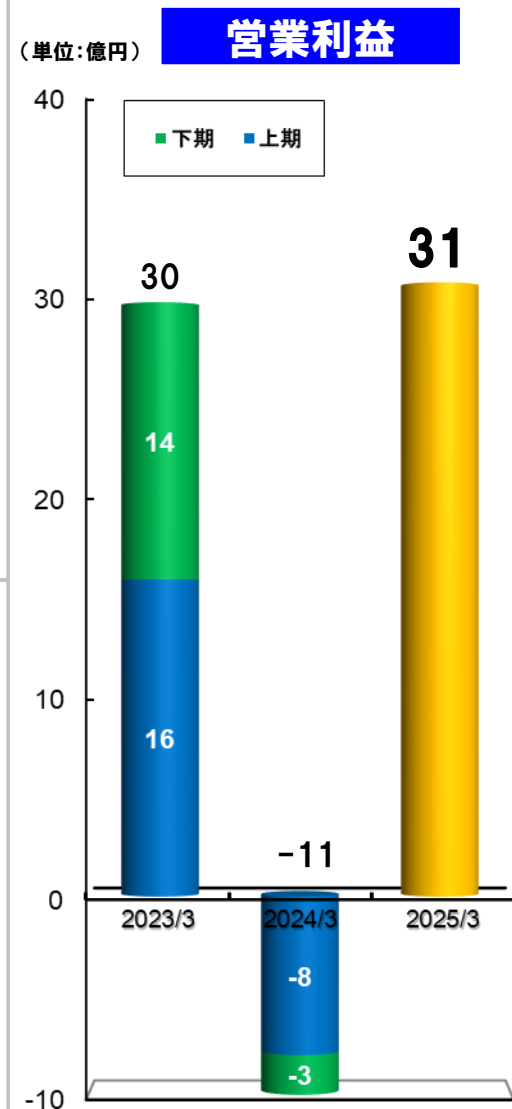
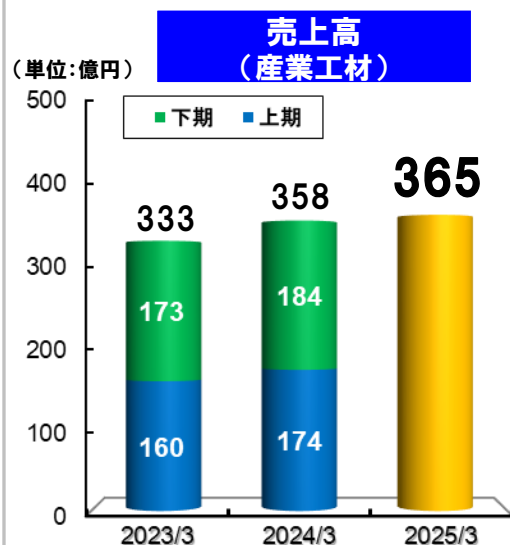
	2024/3 実績	2025/3 見通し	増減	増減率
				(単位:億円)
売上高	2,763	2,900	137	5.0%
営業利益	106	180	74	69.4%
経常利益	115	180	65	56.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	52	130	78	147.9%

【為替レート】

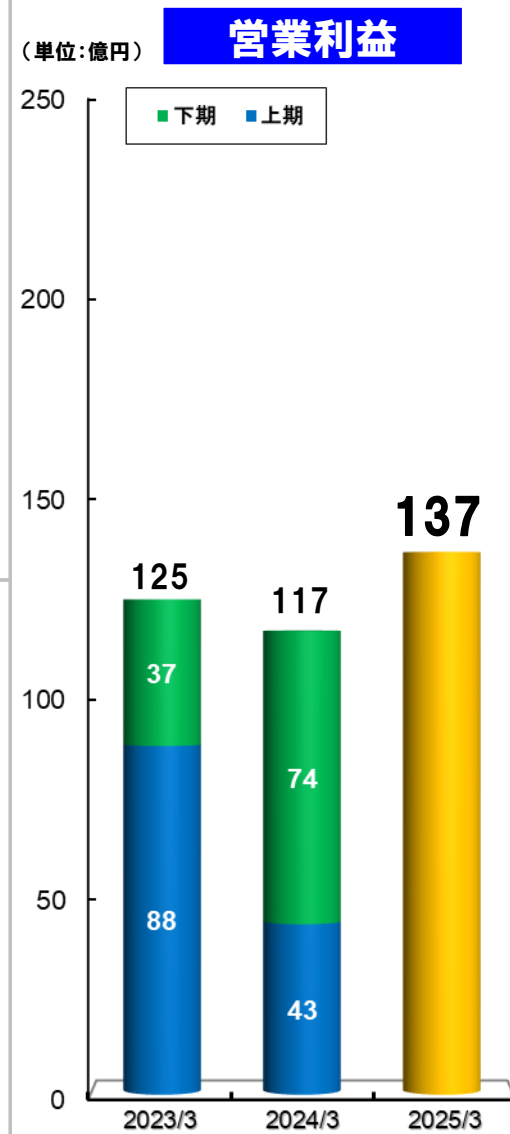
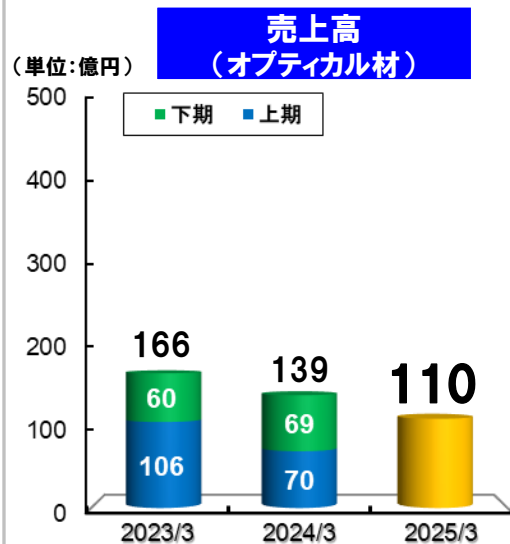
	(2024/3 実績)		(2025/3 想定)
円/US\$	141.20	→	140.00
円/ユーロ	153.17	→	147.00
円/WON	0.1081	→	0.1000
円/中国元	19.87	→	19.50
円/台湾\$	4.54	→	4.35



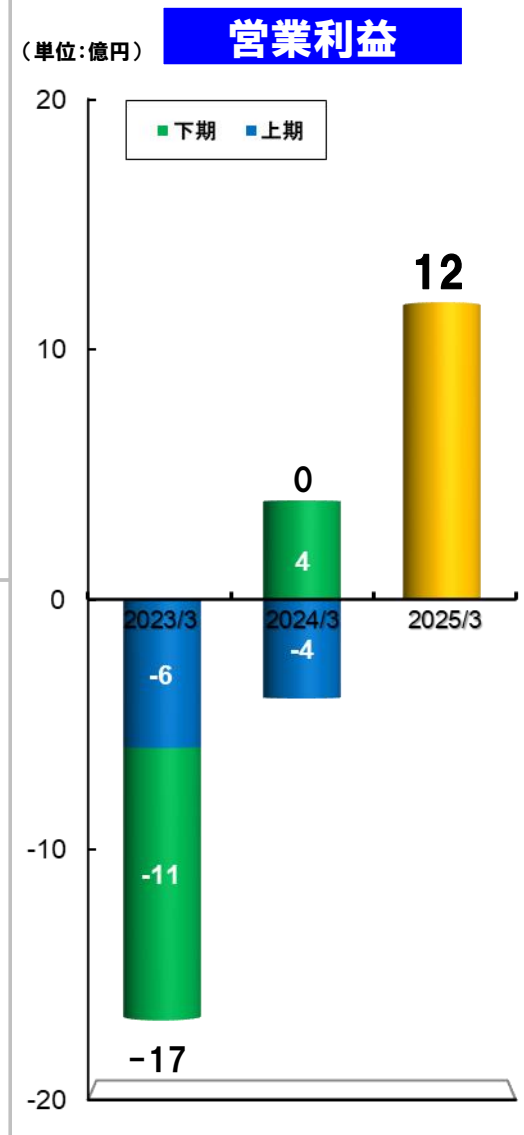
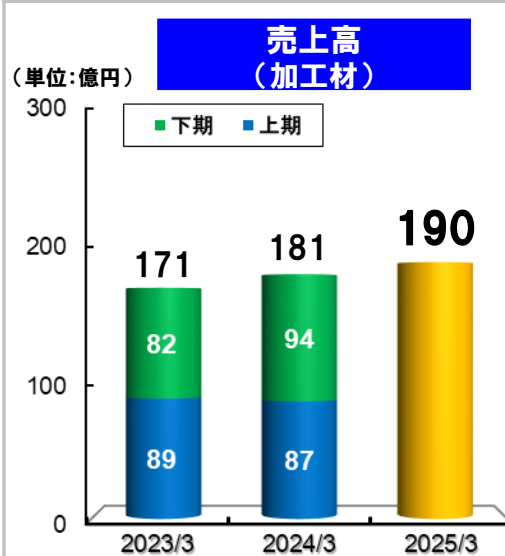
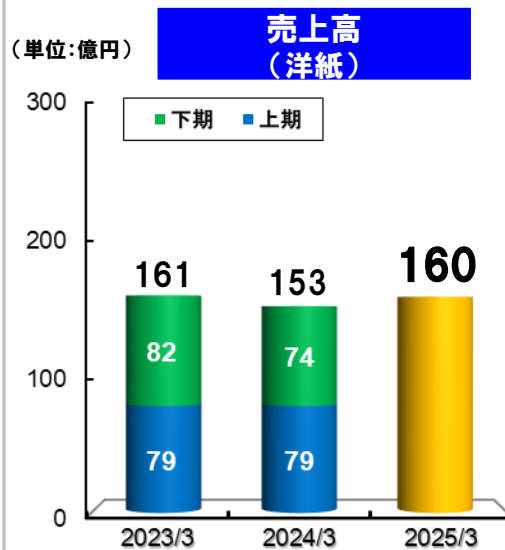
	2024/3 実績	2025/3 見通し	増減	増減率
				(単位:億円)
印刷・情報材 事業部門	1,332	1,396	64	4.8%
産業工材 事業部門	358	365	7	2.0%
売上高 合計	1,690	1,761	71	4.2%
営業利益	▲11	31	42	—%



	2024/3 実績	2025/3 見通し	増減	増減率
				(単位: 億円)
アドバンス マテリアルズ 事業部門	600	679	79	13.2%
オプティカル材 事業部門	139	110	▲29	▲20.9%
売上高 合計	739	789	50	6.8%
営業利益	117	137	20	17.5%



	2024/3 実績	2025/3 見通し	増減	増減率
				(単位: 億円)
洋紙事業部門	153	160	7	4.4%
加工材事業部門	181	190	9	4.8%
売上高合計	334	350	16	4.6%
営業利益	0	12	12	5,614.3%

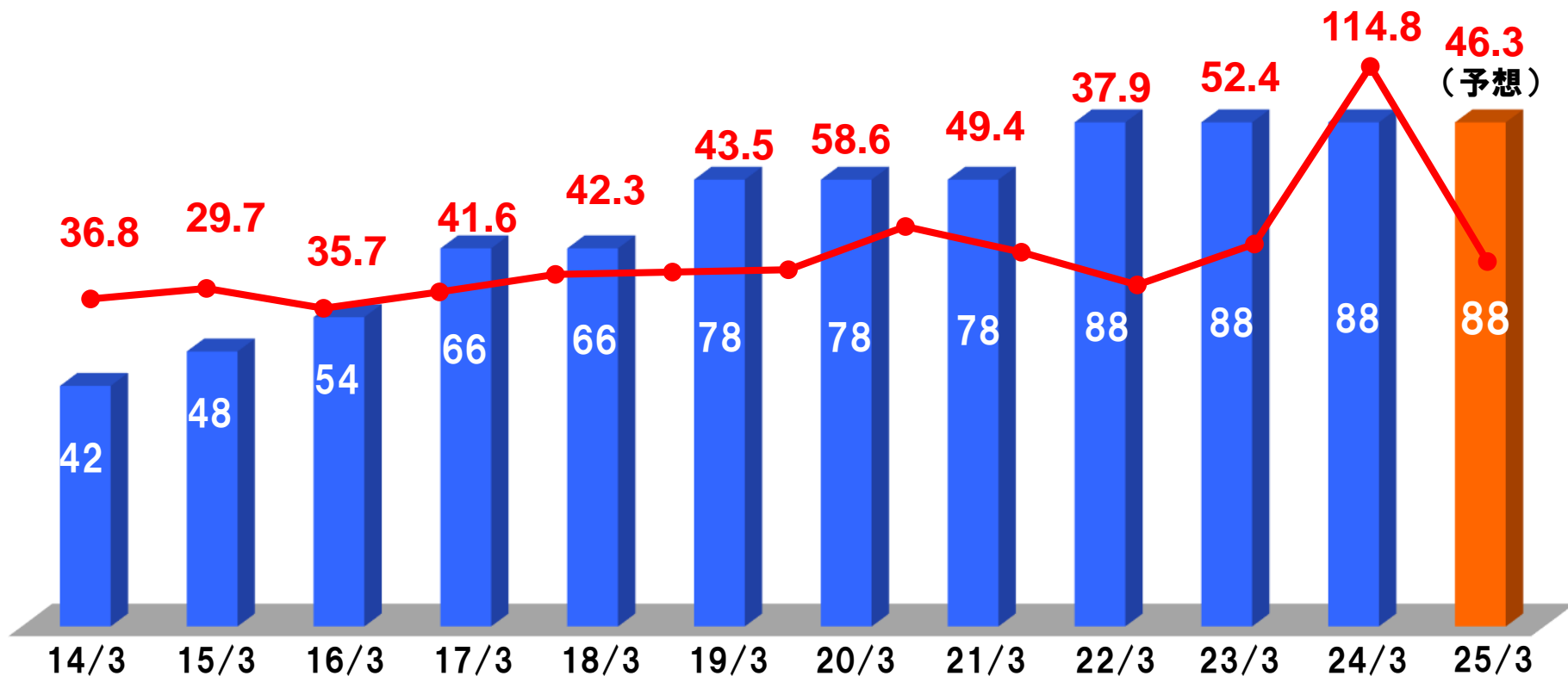


● 1株当たり配当金推移 (円)

■ 実績 ■ 見通し ● 配当性向 (%)

● 2024年3月期より配当方針を変更

- ・中期経営計画「LSV 2030-Stage 2」最終年度である2027年3月期までの4年間は原則として減配しない
- ・配当性向40%以上またはDOE(株主資本配当率)3%を目途に配当を実施



4. 長期ビジョン・ 新中期経営計画概要

LINTEC
SUSTAINABILITY
VISION

2030



名 称 LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030 (略称:LSV 2030)

期 間 2021年4月～2030年3月

基本方針 **イノベーションによる企業体質の強靱化と持続的成長に向けた新製品・新事業の創出を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献する**

重点テーマ

1. 社会的課題の解決
2. イノベーションによる企業体質の強靱化
3. 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出

2030年3月期 財務指標

売上高営業利益率

12%以上

ROE (自己資本当期純利益率)

10%以上

LSV2030 重点テーマ

1. 社会的課題の解決
2. イノベーションによる企業体質の強靱化
3. 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出

2030
年

2021
年



中期経営計画
LSV 2030 – Stage 1

中期経営計画
LSV 2030 – Stage 2

中期経営計画
LSV 2030 – Stage 3

2026年度 財務指標
売上高営業利益率 8%以上
ROE 8%以上

2030年3月期 財務指標
売上高営業利益率 12%以上
ROE 10%以上

「LSV 2030」の実現に向けたマイルストーンとして3か年ごとの中期経営計画を策定・推進



名 称 LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030 – Stage 2
(略称: LSV 2030 – Stage 2)

期 間 2024年4月～2027年3月

2027年3月期 (最終年度) 経営目標

売上高

3,150 億円

営業利益

255 億円

親会社株主に帰属する当期純利益

180 億円

ROE (自己資本当期純利益率)

8%以上

売上高営業利益率

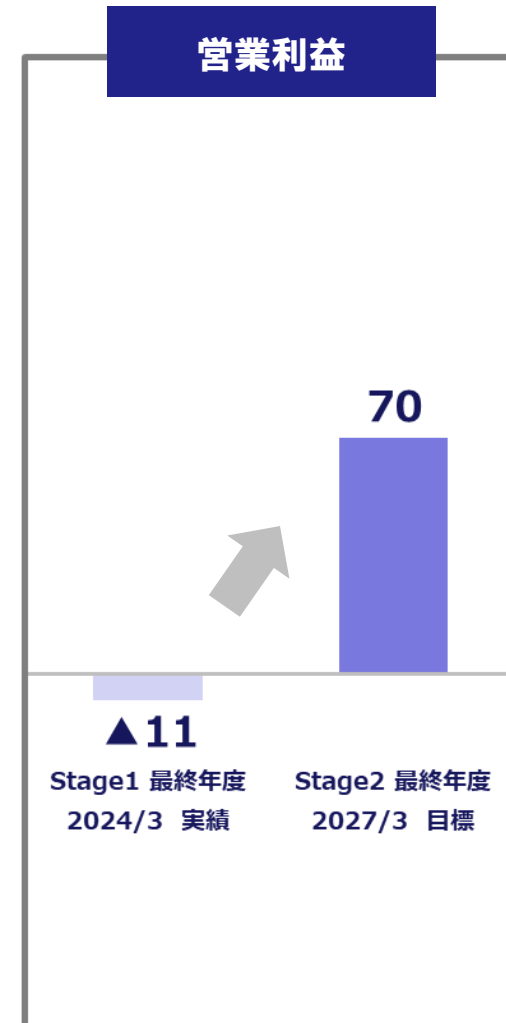
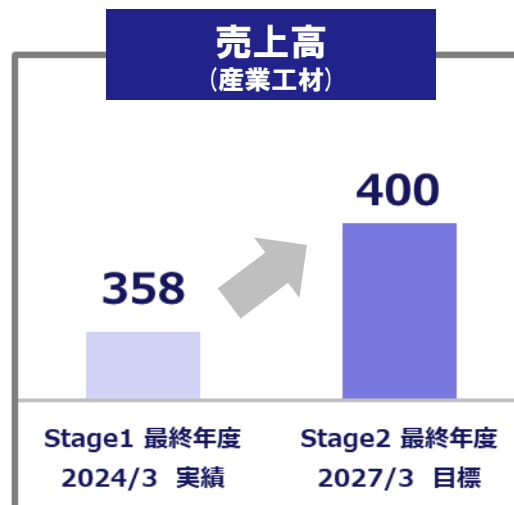
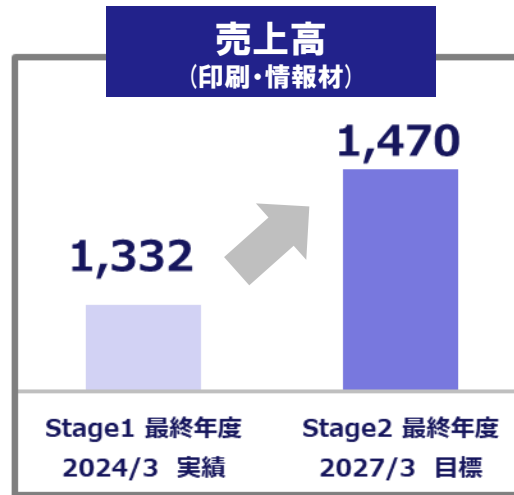
8%以上

長期ビジョンに掲げる三つの重点テーマに対する諸施策と各事業部門の個別テーマの着実な実行

印刷材・産業工材関連 数値目標

(単位:億円)

	Stage 1 最終年度 2024/3 実績	Stage 2 最終年度 2027/3 目標	増減額 (増減率)
印刷・情報材 事業部門	1,332	1,470	+138 (+10%)
産業工材 事業部門	358	400	+42 (+12%)
売上高合計	1,690	1,870	+180 (+11%)
営業利益	▲11	70	+81 (- %)



個別テーマと施策

● 北米やアジアでの拡販と収益向上

- 北米:買収による生産体制の増強と販路活用による事業拡大
 - ◇ 物流・食品・飲料・トイレタリー関連への粘着紙や環境配慮製品の拡販
 - ◇ ヘルスケア・工業関連などへの粘着フィルムの展開強化
- アジア:現地のニーズに合わせた製品ラインナップ拡充と拡販(インドネシア・ベトナム・インドなど)
 - ◇ 生産拠点のQCD強化による競争力の向上
 - ◇ 物流・食品・エレクトロニクス・自動車・メディカル関連などへの展開強化

● 地球環境との共生と循環型社会の実現に向けた取り組み

- 環境配慮製品の拡販(脱プラ、モノマテリアル、森林認証紙、ホットメルト粘着製品など)
- 使用済み剥離紙の再資源化に向けたリサイクルシステムの確立(ラベル循環協会J-ECOL)
- ブランドオーナーへの環境配慮製品の新たな用途提案による採用の活性化

● QCDの強化と収益拡大

- 生産設備の統廃合など、生産体制の最適化によるコスト競争力強化
- 調達材料や製品設計の見直し、品種統合によるコスト削減

個別テーマと施策

● ウィンドーフィルムのさらなる高機能化と拡販

➢ 自動車用ウィンドーフィルム:

- ◇ 遮熱、透明、UVカットなどの高機能製品の開発と拡販
- ◇ アジア(タイ・マレーシア・台湾・中国など)への高遮熱タイプの展開
- ◇ 北米での防犯対策フィルム、フロントガラス保護フィルムの拡販

➢ 建物用ウィンドーフィルム:

- ◇ オフィス・大型商業施設・公共施設などの防犯・飛散防止・省エネに貢献する製品の拡販

● 労働力不足の解決や生産効率の向上に貢献する新製品の開発やシステムの拡販

➢ リフォーム・リノベーション市場向け易施工タイプの内装材や壁装パネルの開発

(施工職人不足の解決に貢献)

➢ ラベリング技術を駆使した自動化システムの拡販

(製造現場や物流センターなどの省人化・高速化に貢献)

● デジタルプリント用メディアの開発・拡販

➢ オリジナルデザインのニーズへの対応(内装用化粧フィルム・ガラス装飾フィルムなど)

● 環境配慮製品の開発

➢ CO₂、VOC排出量削減に寄与する自動車用の塗装代替フィルム開発やラベル素材の無溶剤化

➢ リサイクル、リユースの高まりに対応する易剥離強粘着剤の開発

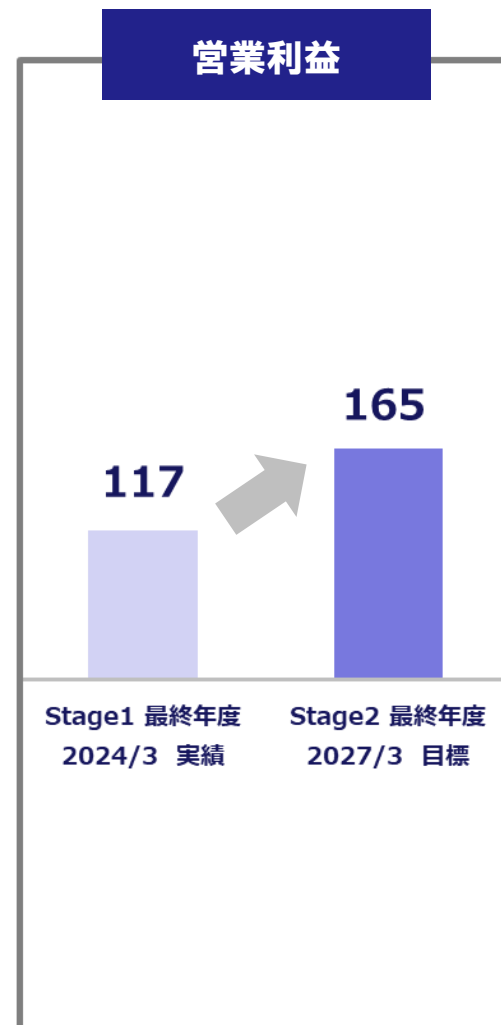
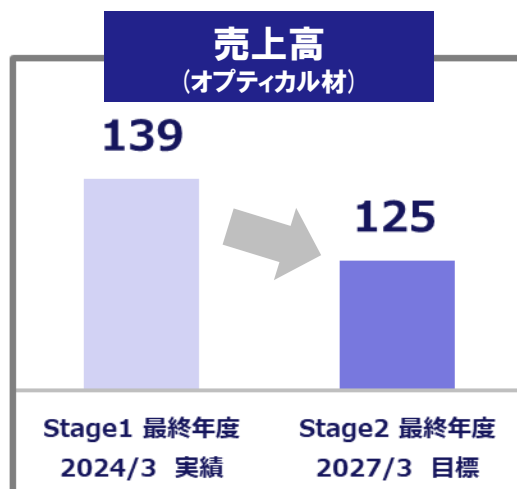
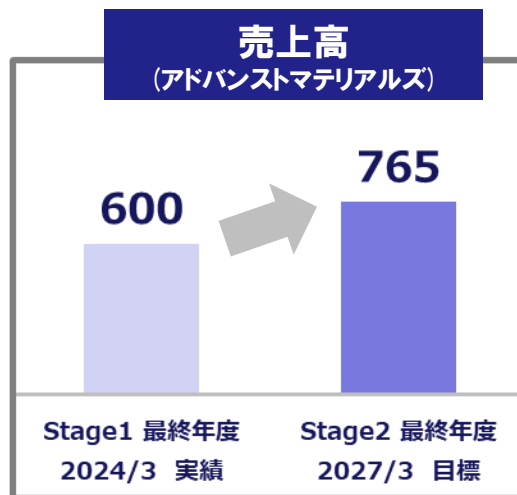
➢ サイン・広告・装飾用素材:リサイクル素材やバイオマス素材を用いた製品の上市

新中計「LSV 2030 - Stage 2」電子・光学関連

電子・光学関連 数値目標

(単位:億円)

	Stage 1 最終年度 2024/3 実績	Stage 2 最終年度 2027/3 目標	増減額 (増減率)
アドバンスト マテリアルズ 事業部門	600	765	+165 (+28%)
オプティカル材 事業部門	139	125	▲14 (▲10%)
売上高合計	739	890	+151 (+20%)
営業利益	117	165	+48 (+41%)



個別テーマと施策

- **エレクトロニクス市場の成長に向けた継続的な設備投資と需要対応**
 - 積層セラミックコンデンサ関連テープ、半導体関連粘着テープおよび関連装置の供給体制強化
 - バックグランド用表面保護テープの拡販
 - 装置フィールドサポートチームの増強による、半導体装置ビジネスの強靱化
- **先端半導体後工程におけるパッケージング技術に関わる新たなテープや装置、独自プロセスの開発**
 - 半導体パッケージング技術に関わる実装技術開発
 - 新プロセス(レーザーピックアップ、TSVなど)や高密度・多積層対応など
 - 車載用・パワーデバイス用半導体向け新製品の開発
 - 次世代アセンブリプロセス材料の提案と拡販
 - 半導体チップ偽造防止技術の確立
- **EUV露光機用CNTペリクル量産体制の確立**
 - 2025年度までに第一次量産体制を確立・販売開始

個別テーマと施策

● 光学ディスプレイ関連粘着製品の展開

- ハイエンドスマートフォンなどの有機ELディスプレイ用粘着製品の競争力強化による拡販

● 車載用OCA* などの新製品の開発と拡販

- 超厚膜品の生産技術確立と車載用高耐久品の開発
- 拡散、着色など複合機能化による車載用途以外への展開

*OCA : Optical Clear Adhesive / 光学透明粘着シート

● 光拡散フィルムの開発

- 公共施設におけるデジタルサイネージ、空間ディスプレイ、反射型LCD用途など

● バリアフィルムの開発

- PSC(ペロブスカイト太陽電池)など次世代太陽電池への採用
- 次世代電子ペーパーへの採用

● 表面処理光学フィルムの拡販

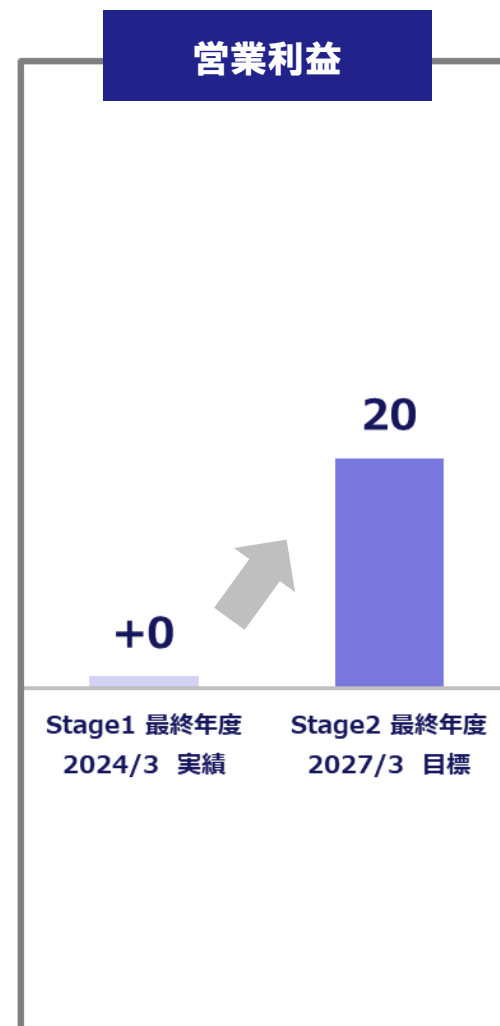
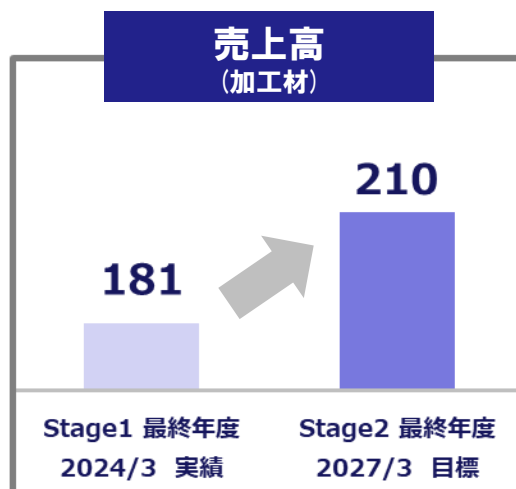
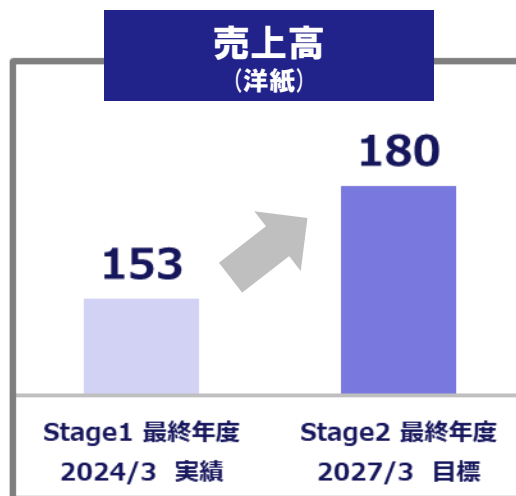
- ディ스플레이の最表面に貼る高精細低反射フィルムの拡販

新中計「LSV 2030 – Stage 2」洋紙・加工材関連

洋紙・加工材関連 数値目標

(単位:億円)

	Stage 1 最終年度 2024/3 実績	Stage 2 最終年度 2027/3 目標	増減額 (増減率)
洋紙 事業部門	153	180	+27 (+18%)
加工材 事業部門	181	210	+29 (+16%)
売上高合計	334	390	+56 (+17%)
営業利益	+0	20	+20 (- %)



個別テーマと施策

● 耐油紙のさらなる用途展開

- 非フッ素耐油紙への完全切替
- 紙製食品容器への展開(厚物タイプ)
- 賞味期限の延長に寄与する脱酸素剤用などの新用途展開

● プラスチック代替高機能紙の開発・拡販

- 透明紙(半透明ファイル、半透明封筒用紙、商品の高透明包材など)
- 生分解性ヒートシール紙(冷凍食品2次包装など)
- 耐水紙(パウチ容器など)

● 高付加価値製品の創出

- 高機能化・省エネに寄与する抄紙機インライン設備の活用
- 塗工機、ポリラミ機などを活用した加工技術との融合

● 収益力の向上

- 生産体制の再構築・最適化

個別テーマと施策

● 合成皮革用工程紙の海外展開強化

- 販売体制強化によるインド・中国・北米・欧州での拡販
- 2025年完成予定の新塗工設備による海外レザーメーカー向け製品ラインナップの拡充
(広幅工程紙の車両内装レザー用途などへの展開)

● 炭素繊維複合材料用工程紙の拡販

● シーズ型新製品の開発

- 撥水性や防滑性を付与するための工程紙の開発・拡販
- トrendを先取りする合成皮革用工程紙の新柄開発

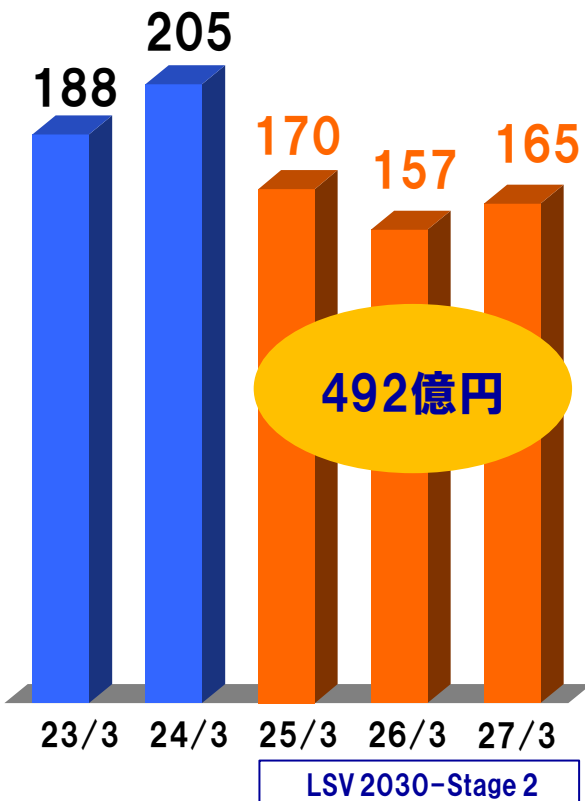
● 環境配慮製品の推進

- 剥離紙・剥離フィルムの無溶剤化
- 剥離紙の脱ポリ化

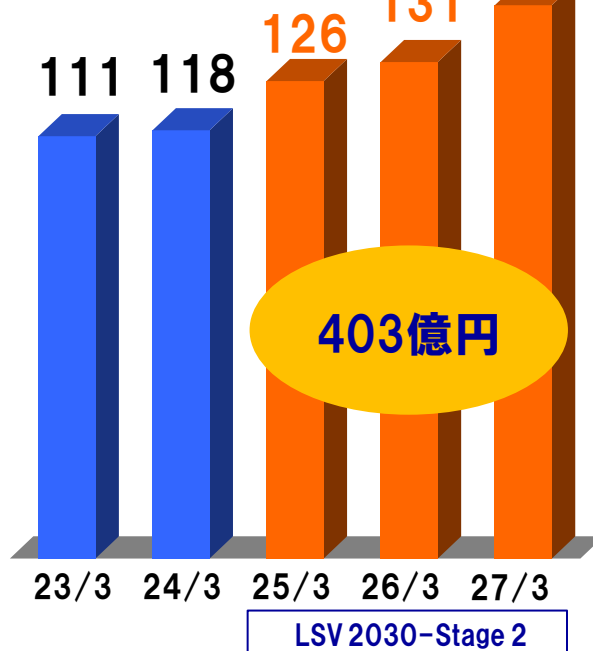
設備投資額・減価償却費・のれん償却額・研究開発費

単位:億円 ■実績 ■見通し

設備投資額



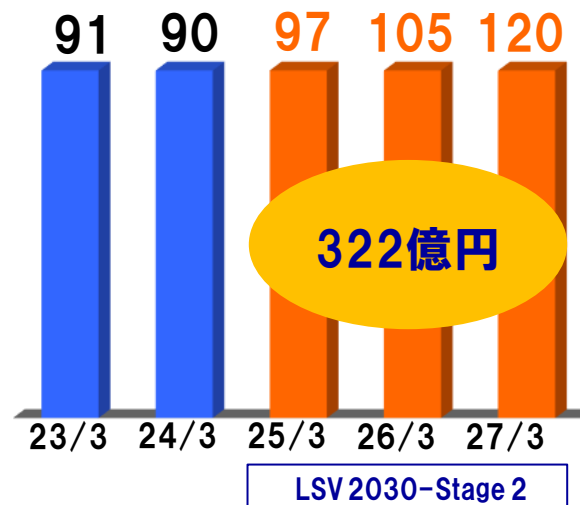
減価償却費



のれん償却額



研究開発費



本資料および当社製品などに関するお問い合わせ先

リンテック株式会社 広報・IR室

〒173-0001 東京都板橋区本町23-23

TEL.03-5248-7741



IRメール配信サービスのお知らせ

当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

www.lintec.co.jp/ir/ir_mail

本資料に掲載されている業績見通しに関する内容につきましては、本資料の作成日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。したがって、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって異なる可能性があります。